

# ひがしね 議会だより

HIGASHINE GIKAI PUBLIC INFORMATION...No.115

2020  
11.1



長瀬二の堀「ざっこ釣り大会」

東根市議会

検索



# 東根市のこんなことが決まりました

●会期 9月1日～9月17日

項目	件数	概要
令和元年度 決算認定	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般会計</li> <li>・特別会計（国民健康保険、東根財産区、公共下水道事業、介護保険、市営墓地、後期高齢者医療）</li> <li>・公営企業会計（水道事業、工業用水道事業）</li> </ul>
条例関連	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税条例の一部を改正する条例の一部改正 <b>ポイント1</b></li> <li>・市民バス設置及び管理に関する条例の一部改正 <b>ポイント2</b> ほか</li> </ul>
議決事件	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市道路線の認定について</li> </ul>
令和2年度 補正予算	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般会計 <b>ポイント3</b></li> <li>・特別会計（国民健康保険、東根財産区、介護保険、市営墓地、後期高齢者医療）</li> </ul>
人事案件	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護委員候補者の推薦</li> </ul>
委員会 発議	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について</li> <li>・議員の派遣</li> </ul>

※詳細は、ホームページで確認できます。

## ポイント1



**市税における寄附金税額控除の特例  
に新たに上限が規定されました**

議第63号 東根市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について

新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止となった文化芸術・スポーツイベントのチケットの払戻しを受けない場合に、その金額分を「寄附」とみなし、個人住民税の税額控除の対象とする税制が改正された。

地方税法に定められた対象金額の上限額である20万円を本市の条例にも明記し、よりわかりやすい内容としたものであり、全会一致で可決した。



## 寄附金税額控除の流れ

1. 文化庁・スポーツ庁の指定イベントか確認
2. 対象イベントの主催者へ連絡し、証明書をもらう
3. 確定申告または住民税申告する



ポイント2



市民バスに「中央循環東根線」が追加されます

議第70号 東根市市民バス設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

既存の市民バス「泉郷線」を廃止し、新規に「中央循環東根線」を追加するため、所要の改正がおこなわれました。

東郷地区泉郷地域において、現在試行運行しているデマンド型乗り合いタクシーが10月1日から本格運行となることに伴い、市民バス「泉郷線」を廃止する。

新たに、市民の移動手段の確保を目的として、令和3年1月1日から「中央循環東根線」を実証運行する。新規路線は、本市の中心部における公共交通空白地域の解消が期待される運行経路となっており、より多くの方に利用していただけるような周知と、公共交通機関の更なる利便性の向上を要望した。



ポイント3



7月豪雨災害対策の補正予算を可決しました

議第80号 令和2年度東根市一般会計補正予算(第7号)

7月28日からの豪雨災害への対策費及び復旧費が最終日に追加提案され、全会一致で可決しました。

一般会計の補正は、7月の豪雨災害に伴う災害復旧事業など8,350万円を追加し、総額275億3,086万9千円とするもの。

被災農家の支援は、今後も国・県の動きを把握し、必要な支援を進めていく。

議員からは、農地の復旧は関係団体と連携を取りながら進めてほしい、国・県の支援に市独自上乗せする制度を創設してほしいなどの要望が出された。

主な補正内容	補正額	担当課
●災害対策事業 (被災住宅、農業用ハウス等復旧、農薬購入等補助)	1,650万円	農林課 建設課
●林道災害復旧事業(単独) (林道の復旧)	1,000万円	農林課
●農地等災害復旧事業(単独) (農地等復旧事業)	300万円	農林課
●農地等災害復旧事業(補助) (農業用施設等の復旧)	1,400万円	農林課
●公共土木施設災害復旧事業(単独) (市道の復旧)	2,000万円	建設課
●公共土木施設災害復旧事業(補助) (市道長瀬松沢線の復旧)	2,000万円	建設課
合計	8,350万円	

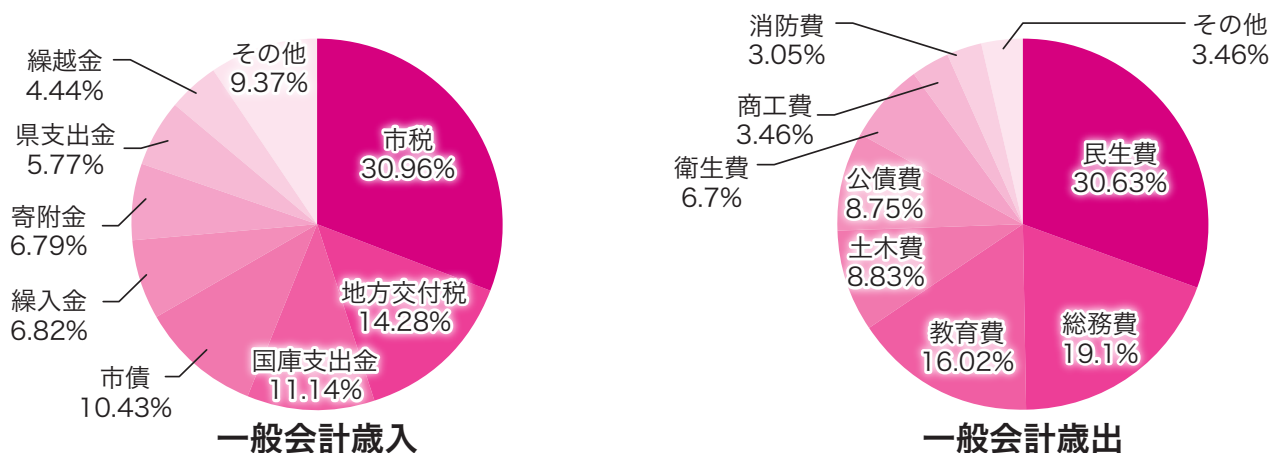
# 令和元年度決算を認定！

## 東根市のお金の使い方をチェックしました。

東根市のお金がどのように使われたのか、決算特別委員会を開催して、慎重に審議しました。9月8日は全体で、9日と10日には3つの分科会を設置して、より詳細に審査をしました。ここで、審査された内容の一部を紹介します。

### 一般会計の歳出総額

219億8,987万4,247円



### 特別会計の歳出総額

108億7,044万5,949円

区分	歳入決算 (円)	歳出決算 (円)
国民健康保険	4,654,320,085	4,510,736,933
東根財産区	1,085,616	687,922
公共下水道事業	1,781,994,183	1,647,016,768
介護保険	4,295,888,117	4,214,943,205
市営墓地	4,420,217	2,179,795
後期高齢者医療	509,866,036	494,881,326

### 企業会計

区分	収入 (円)	支出 (円)
水道事業	収益的収支	1,190,311,917
	資本的収支	42,748,618
工業用水道事業	収益的収支	227,733,799
	資本的収支	0

水防事業

決算額：21万6,568円



水防倉庫に備えている資機材の整備を行った。昨年度の予算執行率は約62%であった。

今般の7月豪雨において、水防活動の重要性が高まっているなかで、水防活動に従事する各消防団のライフジャケットの整備をはじめ水防活動に必要な資機材の充実と活用法の訓練を要望した。

防災行政無線整備事業

決算額：730万5,508円



防災行政無線があなたのスマートフォンに！  
雨が降っても風が吹いても聞き逃さない！

▲千葉県勝浦市における先進事例

これまで、市が発信する災害情報が伝わりきらない事象について、解消の取り組みを要望してきた。本年7月豪雨における対応の中で見えてきた新たな課題を含む防災行政無線を補完する伝達機能について、早急な検討により実行することを強く要望した。

小学校施設維持事業

決算額：9,245万8,587円

中学校施設維持事業

決算額：5,335万2,384円

小中学校施設の長寿命化計画を策定するために、専門業者の視点を入れた計画



策定の委託を行った。▲学校施設の長寿命化整備

内容は、全14校校舎を点検し、建築年度、老朽化度を踏まえ、今後40年間の年次計画を作成し、長寿命化を図っていくための重要な計画となる。

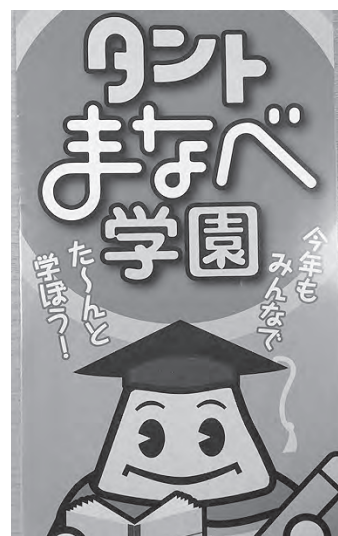
小学校・中学校の仮設校舎リース事業と合わせ、児童生徒の安心安全な学びの確保と適正な予算の執行を要望した。

東根市民立大学

「タントまなべ学園」事業

決算額：270万円

市民参画による実行委員会が、市民の多様な意見を反映して事業を実施している。今後は子育て世代や青壮年層などの新規受講生に魅力ある事業づくりと、コロナ禍における講演会や講座



等の実施にむけた研究を進め、事業のさらなる事業展開を期待する。



### 住まい応援事業

決算額：6,609万9,184円



地域経済の活性化を図るため、市内業者を利用して、住宅の新築やリフォームをする場合に、経費の一部を補助するもの。

年度末の申請は、市民がより利用しやすいものにすると同時に、事業者に制度内容を十分に理解いただき、円滑に運営されるように要望した。

### 果樹王国ひがしねブランド戦略事業

決算額：427万円

### 果樹王国ひがしね6次産業化推進事業

決算額：177万942円

### GI東根さくらんぼブランド化推進事業

決算額：430万円



## 東根さくらんぼ

HIGASHINE CHERRY

農林水産大臣登録第30号

果樹王国ひがしね6次産業化推進協議会が策定した「果樹王国ひがしね6次産業化推進戦略」は、本年で5年目を迎える。

実績が着実に積み上げられており、GI東根さくらんぼと併せ、さらに推進していくために5年間の検証を行い、次期計画に反映することを要望した。

### 道路維持事業

決算額：1億2,633万974円



市内全域の市道の維持管理が行われている。歩道の街路樹はまちなみに潤いや彩りを与えるなど良好な景観をつくっているが、街路樹の根により歩道が盛り上がりしたりしている。歩行者の安全性の確保などから点検確認と適正な維持管理を要望した。

### 企業マッチング用データベース作成事業

決算額：212万4,079円



市内企業の情報を集めた台帳を整備し、また紹介するホームページを公開して、企業間のマッチングや活動を支援する事業。

事業所が掲載したくなるような工夫や、利用者側に立った運営等、有効に活用されるような運用を要望した。

## 乳児全戸訪問事業

決算額：674万951円



出生後、保健師・看護師が通常は1回訪問している。特段の配慮が必要となる家庭には、複数回訪問し、関係各所との連携を密にとるなど対応している。相談や指導は効率化、合理化ができない専門職による業務であることから、適切な人員配置となるよう要望した。

## 民生委員・児童委員活動事業

決算額：716万6,107円



令和元年度改選期に併せて民生委員・児童委員の定数は3名増の85名に、主任児童委員は1名増の11名に、合わせて総数96名に増員された。引き続き地域実態の把握に努め市民に寄り添ったきめ細やかな見守り活動を推進するために、民生委員・児童委員、主任児童委員との更なる連携支援を要望した。

## 介護保険特別会計

決算額：42億1,494万3,205円



高齢化率が低い本市ではあるが、高齢者人口は確実に伸び、要介護・要支援認定者数や認定率も増加傾向にあることから、今後ますます介護給付費の増加が見込まれる。

介護予防の啓発と取り組み強化、地域包括ケアシステムの推進を要望した。

## 放課後児童健全育成事業

決算額：2億6,220万6,199円



学童クラブを利用する児童数の増加に伴い、クラブが扱う経費は高額となってきており、会計、経理の厳格化が求められている。

今後も研修会の開催など、会計、経理事務の適正化に向けた取り組みの継続と、責任を持った指導監督を要望した。

## ●山形空港のあるまち

### 東根について



浅野目幸一 議員

#### 山形空港の周辺環境対策について

**議員** ①航空機騒音対策

における空港周辺の騒音と環境問題の未然防止について、騒音法の規制に沿った対策について伺う。

②空港周辺は民間による宅地分譲やアパートの建設、住宅の建設等が盛んに行われているが、その環境をどう考えるか。

③航空機騒音調査はどうなっているか。また運用時間延長等はどうか。

④ヘリコプター騒音について伺う。

⑤民家防音工事待機世帯の現状について伺う。

**市長** ①山形空港周辺環境整備対策に関する確認書に基づき様々な騒音対策を実施する等、周辺環境対策を推進してきた。

②航空機性能の向上と、離陸時の上昇率が改善され騒音レベルが以前に比べて格段に改善していること等の環境変化が背景にあると捉えている。

③県が実施している航空機騒音調査の結果は、毎年環境基準を達成している。また羽田便の機材の大型化に合わせ運用時間が午後8時まで30分延長されたが、市民生活への影響はないものと考えている。

④ヘリコプターは、緊急を要する人命救助や災害・消火対応等の公共性の高い活動を行っている。土日や夜間であっても出動が必要となる場合があるが、ご理解をお願いしたい。

⑤県において予算措置が行われていないため、騒音レベルが下位の区分である

192戸については、工事が行われていない。

#### 山形空港の利用拡大について

**議員** コロナ禍における空港利用の現状と今後について伺う。

**市長** コロナ禍の影響による航空需要の減少は、今後もしばらく続くことが見込まれ、搭乗率の回復には時間がかかる。今後も山形空港利用状況の推移を注意深く見守りながら状況に合わせ関係機関と一体となって利用拡大を進める。

#### 航空機騒音に係る環境基準

従前の値：W値70以下  
(昭和48年12月制定)

現在の値：62デシベル以下  
(平成25年4月以降)



現行機エンブラエル170

#### 山形空港就航路線の搭乗率

各路線とも20%～30%前後

(8月末時点)



# 一般質問

※質問議員が責任を持って  
原稿を作成しています。

## ●7月の大雨被害について

## ●中山間地の遊休農地に係る 土地荒廃対策について



清野 忠利 議員

### 7月の大雨被害について



▲大雨により冠水した農地

**議員** 白水川堤防の右岸が決壊し、市道長瀬松沢線の道路も損壊、大変な被害をもたらした。農業被害も大変なものであった。冠水面積も400ヘクタールを超え、サクランボ、桃、枝豆その他野菜等のほか、農作業小屋や農業機械、牛舎等にも被害をもたらした。7月28日、29日の大雨は、降水量が東根市で過去最大となり、最上川のバックウォーター、内水など、3つの悪条件が重なり、松沢地

区の白水川右岸左岸が越水し、多くの住宅で床上床下の浸水の被害を受けた。

白水川堤防の今後の復旧及び整備の見通しを伺う。

**市長** この事態を受け、

7月31日の吉村知事の現場視察の際、私から被害状況を報告し、課題等を提示しながら早期復旧と堤防かさ上げ工事を強く要請した。これを受け、河川管理者の

県では決壊した箇所を早期復旧と両岸堤防のかさ上げ工事など対応を進めている。

**議員** 8月28日には国の激甚災害に指定されたが、農業被害に対し、市としてどう対応していくのか。

**市長** 激甚災害の指定に基づき、国や県において浸水した農地の営業再開の支援や、果樹の植え替え等に対する支援など、様々な支援策が制度化されている。これら支援策の積極的な活用に取り組めるよう、農協など関係団体と連携を図りながら、被災農家への支援を展開していく。

### 中山間地の 遊休農地対策について



▲白水川堤防決壊による浸水被害（7月29日）

**議員** 国土を守るために今年から国土交通省も対策に動き始めた。中山間地の遊休農地及び耕作放棄地について、昨年の9月議会で一般質問をしたが、どのように進んでいるか。

**市長** 今後の対策として地域の現状と課題を浮き彫りにするため、各地域で、人・農地プランの実質化への話し合いを進める予定である。農地の保全等を含めた地域農業の未来についても具体的に検討されることになるかと捉えている。

## 市役所も「新しい生活様式」へ ●押印・対面・書面主義の見直し

神町小学校、令和3年1月開校

## ●小学校、学童保育所の利活用は 通学路の安全対策を万全に



山科 幸子 議員



▲脱はんこは行革デジタル化の第1歩

今こそ！市民目線で  
脱「はんこ・紙・対面」を

**議員** 新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、私たちは「新しい生活様式」に取り組んでいる。行政手続きでも押印や書類提出といった慣行を見直すべきだ。  
**市長** 押印された書面で対面による事務手続きは深く浸透しているが、コロナ禍により国は書面、押印、対面主義の見直しを進めている。市は、国・県に合わせて、市民の利便性のために様々な事務の簡素化・効率化に努めていく。  
**議員** マイナンバーカードで住民票や印鑑・税証明がコンビニで取れる。普及

PRも大事だ。個人の権利に係る出生証明や死亡診断書は医師等の自署のみ。市は、早急に押印・書面・対面主義を見直すべきだ。

### ① 神町小学校の移転間近 神町小の跡地利用

**議員** 現在の神町小は、地区の中心部に2万1千㎡超を占め利便性が高い。地区のまちづくりにも大きな影響がある跡地の活用を伺う。

**市長** 老朽化しているさくらんぼ保育所の移転を検討している。残りの敷地は神町地区民をはじめ東根市、北村山3市1町、天童市も含むやりたい案件がある。この事業は自分にしかできないという強い信念で、目下根回し中である。今年中に案を示したい。

### ② 神町学童の利活用

**市長** 現在の学童保育所は、平成12年建設で当分の間は施設の利用に支障はない。現段階で市の方針は定



▲神町小学校、学童保育所周辺

まっていない。市が利用しない場合、地域の意見や要望を聞き検討していく。

### ③ 通学の交通安全対策

**議員** 通称「赤門前交差点」はいまだ改良工事中だ。渋滞著しく、神町西部地区は登下校する児童数が増え続けており通学の安全対策はどうか。

**市長** 児童の安全確保の必要を認識している。県道の交差点改良工事の早期完成を県に要請し、信号機の設置や横断歩道の再設置などを行う。



# 一般質問

※質問議員が責任を持って  
原稿を作成しています。

## ●安全安心な地域づくり

地域防災力向上に向けた体制づくりを！  
人命を優先した避難体制の確立を！



高橋 鉄夫 議員



▲地区における出前講座の状況

7月豪雨時等の状況、教訓を捉えた各種施策の推進を

**議員** 今後の災害への備え、防災拠点の強化は。

**市長** 防災活動においては、防災意識の向上、自主防災会との連携は重要であり、防災教育はもとより、地域活動の中核となる人材の育成に力を入れていく。また、閉所児童福祉施設の活用や西部地区に備蓄と避難所機能を担う防災拠点施設整備を指示している。

**議員** 防災意識向上への取り組みは。

**総務部長** 機会を捉えた出前講座など、要請により防

災アドバイザー等が実施している。状況によっては出向くという姿勢で臨む。

新型コロナウイルス感染を考慮した避難体制の確立を

**議員** 避難所開設・運営

の考え方と体制の強化策は。

**市長** 職員による新型コロナナ感染症を考慮した避難所設営訓練を実施している。また、過密緩和のため、避難所の追加設置、その移動

支援の検討を指示している。

**議員** 福祉避難所開設の考え方は。

**総務部長** 市内4事業所と避難者の受け入れ、東根温泉組合と避難支援等に関する協定を結んでいる。一般避難所の利用を原則とし、速やかな追加を準備する。

警報発令の空振りは対策の一環と捉え素早い発令を

**議員** 情報伝達体制、伝達要領の強化策は。

**市長** 今回の災害では、地域防災計画で、タイムラインを基に『空振りを恐れ

洪水注意報  
大雨注意報など  
(気象庁が発表)

警戒レベル2  
避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。

避難準備・  
高齢者等避難開始  
(東根市が発表)

警戒レベル3  
避難に時間を要する人(高齢者、障がいのある方、乳幼児など)とその支援者は避難しましょう。  
その他の人は、避難の準備を整えましょう。

避難勧告  
避難指示(緊急)  
※1 地域の状況に応じて緊急避難指示が発令される場合があります(東根市が発表)

警戒レベル4  
速やかに避難先に全員避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。

災害発生情報  
※2 災害が発生していることを把握し、可能な範囲で発令(東根市が発表)

警戒レベル5  
既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。

▲避難行動基準

ない』素早い避難勧告を発令した。情報の確実な伝達のため防災行政無線に加え、メール等伝達手段の多様化、確認のためのテレホンサービスを導入している。

**議員** 情報機能強化の取り組みは。

**総務部長** 防災行政無線や市ホームページの充実、またSNSやドローンの活用について勉強していく。

**議員** 災害が、激甚化する傾向、対応の長期化を想定し、更なる危機管理室の強化と地域防災力向上に向けた、次世代につなぐ体制づくりを要望する。



## ●コロナ禍で急速に進んだICT化 多様な学びの切っ掛けに！



片桐 勝寿 議員

新型コロナウイルス休校後の  
不登校児童生徒の状況は

**議員** 全国の不登校児童生徒数は、依然増加の一途をたどっている（資料①参照）が、コロナ状況下で休校になり生活環境も大きく変化している中で子どもたちの状況は。

**教育長** 単純な比較はできないが、昨年度、不登校、不登校傾向等の報告があった小学生35名中25名、中学生43名中33名の本年度の欠席日数が減っている。総合的に改善傾向があると判断しているのは、小学生25名中9名、中学生33名中27名。一方で、1学期中の新規発生数は小学生が12名、中学生が13名で、昨年度と比較すると、小学生が1名減、中学生が4名増という状況。さらに、短い1学期の間に欠席が30日を超えた人数は小学生1名増の9名、中学生は昨年度と同数の16名となっている。不登校児童生徒はもとより、全ての子どもたちに、これまで以上に

### 資料①

小・中学校における不登校児童生徒の推移（全国）

調査年度	不登校児童生徒数	うち90日以上欠席数
平成26年度	122,897人	
平成28年度	133,683人	77,442人
平成30年度	164,528人	95,635人

児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（文部科学省）より

丁寧な指導を行っていく。

学校のICT化が進む中  
不登校児童生徒の出席の判断は

**議員** ICTを活用した学習活動を行った不登校児童生徒について、一定の条件のもと学校への出席と認めていくことも検討が必要と考えるがどうか。

**教育長** 昨年10月文部科学省の通知（資料②参照）があった。不登校の児童生徒の学びの機会の確保の観点からICTを活用した指導の在り方につき一層研究を進める。一定の要件を満たした場合の対応については、通知の内容に沿って判断するよう学校に指導していく。

### 資料②

#### 不登校児童生徒への支援の在り方について（要約）

（令和元年10月25日文部科学省通知）

不登校児童生徒が現在において、登校を希望しているか否かにかかわらず、一定の要件のもと、学校長の判断で出席扱いとすることができる。

また、ICT等を活用した学習活動の場合にも、我が国の義務教育制度を前提としつつ、一定要件を満たした上で自宅において、教育委員会、学校、学校外の教育機関、または民間事業者が提供するICT等を活用した学習活動を行った場合、校長は指導要録上出席扱いとすること、及びその成果を評価に反映することができる。

**議員** eライブラリの活用が始まっているが、不登校の児童生徒に対して、どの様に活用しているのか。  
**教育次長** 家庭学習で継続的に取り組んでいる事例の報告がある。また、中学校別室登校の生徒の学習支援や信頼関係の確立、生徒理解への活用も研究している。  
**議員** これからの時代、学びの場所は学校だけではない。多様な児童生徒の様々な学びを支えていただきたい。また、学校の出席扱い判断について指針を掲げていただきたい。

# 一般質問

※質問議員が責任を持って  
原稿を作成しています。



滝口 公一 議員

## ●墓地需要に対する

### 市としての考えは？

## ●公共交通空白地域解消へ

### デマンド型乗合タクシーの今後

**市営墓地**  
大平山みはらし霊園の現状

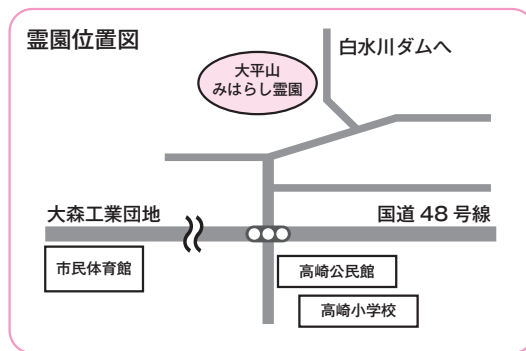
**議員** 市営墓地の変遷と使用状況について伺う。

**市長** 墓地需要の高まりを受けて平成17年度に整備、平成22年度に2期分譲を行った。全体数は561区画だが、そのすべてに対し許可を行っており、空き区画は無い状況である。

**議員** 本市は県内で唯一人口が増加し、現在も宅地開発が盛んに行われている。市営墓地の需要はあると思われるが市の考えは？

**市長** 核家族化や少子高齢化の進展、地縁・血縁の希薄化、価値観の多様ななど社会環境の変化により新たな課題が生じている。一方で将来にわたって市民の墓地需要に添えていくため、市営墓地が抱える様々な課題を総合的に捉え効果的・効率的な取り組みを進める必要がある。そのため翌年度以降にアンケート調査を実施し、市営墓地の需要・整備のあり方を検討する。

**議員** 様々な要求の受け皿として近年、合葬墓や樹木葬といった様式も聞かれる。行政サービスとして本市の魅力のひとつにもなり得ると思われるので、総合的に検討を望む。



**公共交通空白地域への今後の対応は？**

**議員** 昨年からは東郷地区の泉郷地域において、市民バスに代わる移動手段としてデマンドタクシーが導入された。従来の市民バスと並行しての試行運行という形だが、今後の運行予定は、**市長** 試行運行の状況を

踏まえ泉郷地域と協議を重ね、10月から市民バスに代わり本格運行に移行する。従来の市民バスの運行日と同じ火曜日・金曜日の週2回、往路1便・復路2便の1日3便を予定している。地域の意見を受け、運行時間や乗降場所について利用しやすいよう改善した。

**議員** 沼沢・猪野沢地域をはじめとした公共交通空白地域への今後の対応は？

**市長** 泉郷地域における本格運行の状況を検証しつつ、「バスシステム市民会議」などを活用して広く意見や要望を聞き、公共交通空白地域の解消に努める。



## ● 7月豪雨による最上川の氾濫と 白水川堤防決壊について

### 被災地区の復旧・復興に向けて！ 被災農家の営農再開への支援は!？



元木十四男 議員



▲決壊地点から押し寄せる濁流（長瀬地区岡島地区）

**議員** 甚大な被害をもたらし、危険な状況から市民の生命財産を守るための白水川右岸堤防決壊情報はなぜ発表されなかったのか伺う。

**市長** 市民の命を守るといふ点では最上川の洪水情報に基づいて、白水川の決壊より前にすでに避難勧告を発令している。災害発生中の避難行動は危険な場合もあり、この段階で避難を呼びかけるのではなく、その1段階前、2段階前に呼びかけるのが国、地方を通じた考え方である。

#### 被災者への支援について

**議員** 床上床下浸水など、被災された方々が1日も早く日常生活を取り戻していただくために市としてどのような対応し、どのような支援策を講じたのか伺う。

**市長** 発災後、床下や家屋周辺の消毒に必要な資材と薬剤を届け、災害廃棄物の回収も早期に開始した。同時に罹災証明書を速やかに発行するため、建物点検や評価のため浸水家屋を調査した。また住宅に被害のあった方に本市独自の支援として、住宅の修繕工事費等への助成、上下水道料金の一部減免する。

#### 被災農家への支援について

**議員** 農地、農産物、農機具とトリプル被害で落胆している。営農再開に向けてがんばっている農家の方へ農業用機械等も含め、本市はどのような支援をしていくのか伺う。



▲激流により、大きく陥没した市道 長瀬松沢線（松沢橋北側）

**市長** 国や県において様々な支援を制度化しており、その中には農業用機械の再取得、修繕への支援等もある。本市としては、県との共同事業対応等について検討しており、これらを積極的に活用できるように、農協等関係団体と連携を図りながら、被災農家へ支援していきたい。

**議員** 国などの支援パッケージと併せて、1人でも多くの農家の方々が活用できるよう、説明会や相談会等も開催してもらいたい。



# 一般質問

※質問議員が責任を持って  
原稿を作成しています。

## ●令和の新たな

## 「子ども子育て支援計画」を問う

## ●共生社会の推進

～高齢者が生きがいを持って豊かな人生をおくるために～



齋藤俊一郎 議員

子育てするなら東根市  
第1期支援事業計画の総括と展望

**議員** 第2期計画の素案が公表された。平成27年度から始まった第1期計画の成果と課題を伺う。

**市長** 民間活力も導入し児童福祉施設を積極的に整備した。学童保育所も老朽化や入所児童の増に対応する整備を行った。

今後の保育需要は、見込数よりも低年齢児を中心に増加していることから第2期計画期間中にて、二ノズに対応した公営の東根こども園を整備する。

**議員** 第2期計画案の柱と主要な施策を伺う。

**市長** インクルーシブ保育の実施、感染症や災害の対策充実、児童虐待の防止の強化など定員の確保策にとどまらず、社会情勢の変化を踏まえた施策を重点的に取り組んで行きたい。

**議員** 児童虐待防止対策を次期計画案の重点政策とした背景と対策は。

**健康福祉部長** 虐待に関する

る個別ケース検討会の開催が平成27年度の19回から昨年度は36回と大幅に増えたことが理由である。来年度以降、対策拠点の体制整備の検討を行っていく。

**議員** 子ども虐待ゼロへの取り組みを要望する。

### 用語解説

※インクルーシブ保育  
障がいの有無にかかわらず、できるだけ同じ場所で保育を実施すること。



▲子ども虐待防止のオレンジリボンプロジェクト

先輩世代の安心した市民生活を応援したい

**議員** 次年度以降、3か年を計画期間とする東根市老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画の策定に向けた考えを伺う。

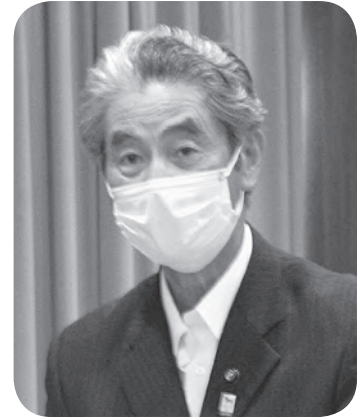
**市長** これまでの施策の継続・充実を図り、在宅福祉サービスの元気高齢者の活動の充実、介護予防活動や地域包括ケアシステムの連携推進などを目標に掲げて、実効性のある計画にしていきたい。

**議員** 地元医師会をはじめ「医療と介護の連携」が重要だ。特に多職種連携について現在の状況を伺う。

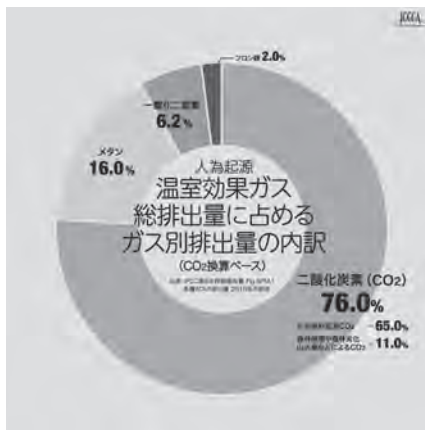
**健康福祉部長** 北村山医療介護連携第2センターを設置して関係機関の連携を促進している他、理学療法士や歯科衛生士などの多職種による「自立支援型ケア会議」で、身体状態に沿った個別の支援に繋がっている。

## ●豪雨災害とゼロカーボンシティの 取り組み状況は

## ●新型コロナ感染防止対策から見た 小中学校の対応状況は



植松 宏 議員



### ゼロカーボンシティの 取り組みは

**議員** 気候変動の原因は地球温暖化が原因。本市が参加表明した「ゼロカーボンシティ」の現在の取り組み状況は。

**市長** 気候変動への対応策として、県内自治体に先駆け「ゼロカーボンシティ」を表明した。現在、市内工業団地内の企業に、二酸化炭素の排出量や省エネ対策の実施状況をアンケート調査し、排出量の実態を把握

中。また、この表明の趣旨に賛同した企業から、60万円の寄付を頂き植樹を予定している。

**議員** アンケートの調査項目及び取りまとめ時期はいつ頃か。

**市民生活部長** 調査は産業活動を行うにあたり、二酸化炭素をどれだけ排出しているかが主な内容。今年度中にとりまとめ予定。

**議員** 寄付金の使い道は。  
**市民生活部長** ゼロカーボンシティ実現に向け有効に活用したい。

### 感染防止策と3密回避策は

**議員** 感染防止策としての新たな業務は、教職員へ負担増となっていないか。1クラス当たりの生徒数は、3密対策上問題はないか。

**教育長** 集団感染を防止するための消毒作業は、日常的な業務となっている。教育委員会では、行事の見直しや中止で業務の軽減を図っている。3密対策として

### 用語解説

#### ※ゼロカーボンシティ

2050年までに温室効果ガスまたは二酸化炭素の排出量を、実質ゼロにすることを目指す旨、首長自らが公表した自治体をゼロカーボンシティと呼ぶ。

学級活動を工夫し、文部科学省で示す座席間隔の基準は概ね確保されている。

**議員** 教室内の3密を避ける意味からも少人数学級は避けられない。どのように考えるか。

**教育次長** 少人数学級は、きめ細やかな授業実現のため要望しており、新型コロナ対策にも有効であると認識している。

**議員** 少人数学級のために学区の見直しも必要ではないか。

**教育次長** 現時点では考えていない。

# 一般質問

※質問議員が責任を持って  
原稿を作成しています。

## 地域共生社会、 全世代型社会保障実現のために 新たな制度

### ●「重層的支援体制整備事業」 の導入を！



河村 豊 議員



**議員** 来年度から「重層的支援体制整備事業」を実施する市区町村に国が交付金を支給する新たな制度が本格的にスタートする。

①ひとり親、児童、高齢者、障がい者、どんな相談も丸ごと受け止め、住まいや雇用、医療、教育などの支援機関とも連携して家族全体が抱える課題を解決する「包括的な相談支援」。

②仕事や地域活動など、本人に合った場を探し、役割を見出せるよう支援し、地域につなぎ戻して行くための「参加の支援」。

③子ども食堂や運動教室など住民自らの意思で多様な活動や居場所を増やす「地域づくりに向けた支援」。

これらを一体的に行う事業で、制度の縦割りを打破し、困り事を抱えている本人と家族を中心とした支援へと福祉の大転換を図ることが期待されている。

この事業に積極的に取り組んでいく必要があると考えるがどうか。

**市長** 各分野に相談窓口を設け、複雑化・複合化する生活課題に寄り添い、その都度、従来の縦割りに固執することなく、関連機関や地域住民などと連携してきめ細やかな支援、包括的な支援を行い、問題解決に取り組んでいる。

今後、モデル事業として取り組んでいる自治体の成果・実績から学び、地域特性等にあった支援体制の在り方を研究する。

**議員** 新たな事業の成否を左右する人材の育成、確保、専門性の向上、処遇改



善を図り、支援者を孤立させない、バーンアウトさせない取組が必要だと考える。

**市長** 課題を解決するための行動力、判断力、調整力など、職員に対し常に市民目線で業務に従事することを実践させ、各部署の専門性と合わせて日々経験を積み重ねながら資質の向上に努めている。より専門性の高い知識や能力が必要となる場合は、社会福祉協議会等の関係機関と連携し支援体制を整えていく。

**議員** 土田市長のリーダーシップで、取組実施と体制整備への動きを強く要望する。



# 要望書・提言書を提出しました

## 令和2年7月豪雨の被災状況を受けての要望書

7月27日から県内で降り続いた大雨は、本市においても観測地点における総降雨量が過去最多を更新し、土砂災害警戒区域を対象とした土砂災害警戒情報の発令や、最上川が氾濫危険水位を超えたことによる避難勧告の発令により、避難所に身を寄せた市民の皆様も数多く見られました。

この豪雨は、市内各地域に被害をもたらしましたが、特に、長瀬地区においては、最上川の支流である白水川において、降雨に伴う水位上昇と最上川との合流地点からの逆流により堤防右岸の決壊と左岸の越水が生じ、松沢区内住宅等の床上・床下の浸水、田畑の冠水など、甚大な被害に繋がりました。

市議会としましては、被災された皆様から聴いた様々な声を真摯に受け止め、「要望書」として取りまとめ、市長に提出しました。

### 【要望の概要】

- 緊急情報の発信手法の更なる検討
- コロナ禍における避難所運営と地域と行政が一体となった避難誘導の検討
- 営農再開と住まいの再建に対する支援
- 最上川に合流する市内3河川の早急な治水対策の国・県への要望強化
- 昨年度見直しを行った洪水ハザードマップで、指定避難所を含め浸水区域に位置付けられた西部地域における防災拠点施設の早期整備

## 各常任委員会からの提言書

市議会では、各常任委員会において所管の調査事項を設定し、現状の確認や先進地視察、関係機関との議論等を実施してきたことを踏まえ、本市における課題解決や政策決定に向けた検討材料となるよう「提言書」として取りまとめ、市長に提出しました。

### 【提言の項目】

- ICTの利活用に係る計画等の策定について  
(総務文教常任委員会)
- 農業の担い手不足対策について  
(経済建設常任委員会)
- 障がい者自立支援について  
(厚生常任委員会)

9月10日、細矢俊博議長と高橋光男副議長、山科幸子総務文教常任委員長、高橋鉄夫経済建設常任委員長、片桐勝寿厚生常任委員長の5名で、市長に要望書・提言書を提出しました。



# 広域組合議会等概要報告

- 北村山公立病院組合議会  
(東根市、村山市、尾花沢市、大石田町) 第2回定例会 7月30日開催
- 東根市外二市一町共立衛生処理組合議会 **ピックアップ**  
(東根市、村山市、天童市、河北町) 第2回定例会 7月21日開催
- 北村山広域行政事務組合議会 **ピックアップ**  
(村山市、東根市、尾花沢市、大石田町) 第2回定例会 9月28日開催
- 河北町ほか2市広域斎場事務組合議会  
(河北町、村山市、東根市) 8月定例会 8月24日開催
- 山形県後期高齢者医療広域連合議会  
(県内35市町村) 7月定例会 8月3日開催

## 東根市外二市一町共立衛生処理組合議会

ごみ焼却処理施設延命化工事（第二期工事）請負契約（契約金額11億6,050万円）及び粗大ごみ処理施設延命化工事（第一期工事）請負契約（契約金額5億1,700万円）の締結について原案通り可決した。

着工：議決日（令和2年7月21日）から  
完成：令和4年3月10日

## 北村山広域行政事務組合議会

令和元年度一般会計決算認定のうち  
プラネタリウム室椅子設置工事（902万円）

従来の70席から50席に改修し、感染症対策に配慮するとともに車椅子の方が利用できる施設となった。

平成30年度に改修したLED化とともに、天文学習機能が充実した。

(単位：円)

令和元年度	北村山公立病院組合議会		東根市外二市一町共立衛生処理組合議会	北村山広域行政事務組合議会	河北町ほか2市広域斎場事務組合議会	山形県後期高齢者医療広域連合議会	
	収益的収支	資本的収支				一般会計	特別会計
歳入決算	5,304,308,305	772,933,414	2,394,825,216	97,702,095	62,841,103	643,134,672	159,616,189,667
歳出決算	5,496,955,280	984,400,182	2,307,612,649	87,198,458	55,801,128	593,868,577	156,100,575,594
負担金総額 (うち交付税額)		976,485,000 (332,688,000)	935,093,000 (86,290,000)	87,632,000	59,706,000	602,778,000	24,527,283,470
本市実質負担額 ※交付税を除いた額		311,747,924	269,669,000	33,153,000	28,847,000	23,370,025	910,904,195
本市実質負担割合	48.4%		31.8%	37.8%	48.3%	3.8%	3.7%



## 将来の夢

小田島小学校 6年

山下 麗さん

私の将来の夢は、ピアノの先生になることです。私は年長の頃からピアノを習っていて、これからも続けようと思っています。なりたいと思ったとき



っかけは、ピアノの先生がいつも優しく、丁寧に教えてくれるからです。3年生の発表会に向けて練習している時、曲の練習が難しくなって、途中で辞めたいと思った時がありました。今まで練習していた曲を弾きたくない気持ちが強くなったこともありました。そんな中、私は「できなくても諦めずに練習すれば必ずできるようになる」と先生から学びました。

私は、有名なピアノリストのコンサートやオーケストラの演奏を聴きに行くこともあります。ピアノだけでなく、いろいろな音楽に触れることも大切だと思っています。これから、たくさん音楽を聴いたり曲の練習に励んだりして、教えてくださっている先生を目標に、努力していきたいと思っています。

### 令和2年第4回定例会 日程のお知らせ

12月3日から  
12月17日まで  
開催予定

12月3日(木) 本会議  
予算特別委員会  
12月7日(月) 本会議 (一般質問)  
8日(火) 本会議 (一般質問)  
10日(木) 本会議 (総括質疑)  
予算特別委員会  
各常任委員会

12月11日(金) 各常任委員会  
17日(木) 予算特別委員会  
本会議

※日程は、招集告示後の議会運営委員会を経て定例会初日の本会議で正式決定します。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

傍聴を希望される場合は、新型コロナウイルス感染症対策として、手指の消毒・マスクの着用にご協力をお願いいたします。

### 編集後記

記録的な暖冬・少雪で明けた今年は、長雨、酷暑そして豪雨と異常気象に泣かされ、コロナ禍で1年を終えるのでしょうか。

10月に4回目の臨時会を開会し、緊急事案に対していち早く市民の皆様へ支援できるよう予算等を可決しました。

市民の皆様の声を市政に反映できる身近な議会であるために、議会基本条例を策定中です。

新しい生活様式も定着してきました。世界中、新しい年が災い転じて福となす輝かしい年になるようお祈りいたします。

#### 議会広報委員会

委員長 片桐 勝寿  
副委員長 高橋 弓嗣  
委員 三宅 一人  
齋藤俊一郎  
山科 幸子  
植松 宏  
高橋 光男

問い合わせ (議会事務局) TEL (42) 1111 (内線4111) ・ FAX (43) 1178  
E-mail: gikai@city.higashine.yamagata.jp

